

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日更新

事務事業名	熊本県物産振興協会参画事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	6 産業の健康	所属部	産業振興部	課長名	松田 勝
	施策	27 商工業の振興	所属課	商工振興課	担当者名	幸恵 知浩
	施策の柱	72 人材確保と生産・販売力の強化	所属班	農商工連携班	(内線)	5216
予算科目	会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11461	根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	振興協会への参画によって、市物産のPRIに寄与する。 平成5年4月1日、熊本県物産振興協会の設立に伴い市町村の取組みが始まった。 昭和38年観光基本法～昭和39年物産振興協会任意団体を結成。 平成18年の合併により負担金が5万円から10万円へ変更となった。
【業務の流れ】	請求書受付、支払及び振興協会からの調査依頼への回答 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	地元特産品の全国展開に向けてアンテナショップ等への出品希望があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	請求書受付、支払 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。 調査及び回答	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		熊本県物産振興協会から提供される物産情報や展示会開催情報の提供を受けるとともに、その情報を活用しながら協会との連携を密にし、合志市のブランド品のPRを発信できるよう努めていきたい。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 振興協会の研修会、講習会の開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
熊本県物産振興協会		→ ア: 振興協会加盟団体数
		社
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
熊本県物産振興協会加盟団体に多くの情報が提供され、スムーズな運営を図ることができる。		→ ア: 振興協会主催事業への出席回数
		回
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受けるため、協会主催事業へ参加するので、この指標を設定した。協会への参画事業なので、目標値は例年どおりとした。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア	社	471	527	500	523	500	500	500	500
③ 成果指標	ア	回	1	1	1	1	1	1	1	1
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	100
		(A) 事業費計	千円	100	100	100	100	100	100	100
		(A)のうち指定経費	千円	100	100	100	100	100	100	100
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	3	1	3	0	0
延べ業務時間	時間	25	25	0	15	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	92	0	0	59	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	192	100	100	159	100	100	100	100	

事務事業名	熊本県物産振興協会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 協会主催の会議等へ参加し、情報収集ができた。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協会主催事業への参加は、日程調整ができれば可能である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 日程調整をし振興協会主催事業へ参画し、多くの情報を市内企業へ提供をする。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 一社)クラッシーノこうしと連携を図ることにより、市内事業者が協会主催事業へ積極的に出展できる環境を作る。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他市町村とも同額の負担であるので削減の余地なし。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支出と研修会への参加であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 振興協会がスムーズに運営されることにより、合志市が物産情報の提供を受けることができ、合志市内の不特定多数の人々に情報発信することができるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 一社)クラッシーノこうしと連携することにより、『稼げる市』を目指す。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

観光物産に関する活動や情報収集は市単独では困難なので、今後も協会に参加して情報提供を受けることが有効である。また、(一社)クラッシーノこうしと連携し、合志ブランドや市内農産物及び加工品の販路拡大に努める。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						